

様式A（介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 依頼書）

令和 5年 11月 13日

公益財団法人テクノエイド協会 殿

(依頼者)
〒386-8608
住所 長野県上田市踏入2-10-19

事業者名 上田日本無線株式会社
担当者所属 新規事業推進グループ
担当者名 小山田 稔
電話番号 0268-26-2144
電子メールアドレス oyamada.minoru@ujrc.co.jp

介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 依頼書

貴法人が福祉用具・介護ロボット実用化支援等一式の一環として行う、介護ロボット等に係る「**介護現場と開発企業の意見交換実施事業**」又は「**試作介護機器へのアドバイス支援事業**」について、下記の書類を提出して依頼します。

記

1. 介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 依頼概要書
2. 会社概要（任意様式）
3. これまでの介護ロボット等に関わる開発実績がわかる書類（任意様式）
※）実績がない場合は、提出不要

（本書類の取扱いと留意事項について）

- ご提出いただく「介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 依頼概要書」は、介護施設等とマッチングする際、当協会のホームページを通じて、介護施設等へ公開いたします。
従って、記載する内容は、公開可能な範囲で差し支えありませんが、具体的な記載がない場合には、マッチング先が現れない場合もあり得ることをご了承ください。
- 適切なご協力がいただける介護施設等とマッチングするためにも、記載内容は技術的な事に偏らず理解しやすいものとしてください。
- 当協会では記載内容や本事業に関わる各種の相談を承っております。
- 案件によっては、マッチング先が現れない場合もあり得ることをご留意ください。

様式B（介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 依頼概要書）

令和 5年 11月 13日

介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 依頼概要書

1. 希望する事業の種類（いずれかに○印を記入してください。）

1. 介護現場と開発企業の意見交換実施事業	<input checked="" type="radio"/>
2. 試作介護機器へのアドバイス支援事業	

2. 依頼者（企業）の概要

企業名	上田日本無線株式会社	
担当者名	小山田 稔	
担当者連絡先	住所	〒386-8608 長野県上田市踏入2-10-19
	電話	0268-26-2144
	電子メールアドレス	oyamada.minoru@ujrc.co.jp
主たる業種	無線通信装置、医用電子装置、電子応用機器、各種システム機器及び電子部品の開発・製造・販売	
主要な製品	携帯型超音波診断装置、要介護者見守りシステム“守ってね”、分析装置	
希望する施設等の種類や職種等 希望施設に□を入れてください 複数選択可	<input checked="" type="checkbox"/> 介護老人福祉施設：特別養護老人ホーム <input checked="" type="checkbox"/> 介護老人保健施設：老人保健施設、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 <input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護：グループホーム <input checked="" type="checkbox"/> 特定施設入居者生活介護：有料老人ホーム、軽費老人ホーム、養護老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、地域密着型特定施設入所者生活介護 <input checked="" type="checkbox"/> 居宅介護サービス：訪問介護、看護、デイサービス、リハ、福祉用具貸与サービス事業者、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護 等 <input type="checkbox"/> ショートステイ <input checked="" type="checkbox"/> 障害者福祉施設 <input checked="" type="checkbox"/> 医療機関：介護療養型、介護医療院、病院、リハビリテーションセンター 等 <input type="checkbox"/> その他：（ ） 	
その他		

3. 当該機器の開発コンセプト又は試作介護機器等の概要（可能な限り詳しく記入してください。）

機器の名称（仮称）	測距センサを用いたベッドゾーン見守り装置		
試作介護機器の有無及び機器のコンセプト（試作介護機器あれば写真を添付）	試作介護機器の有無	1. 有	2. 無
	機器の目的及び特徴 カメラ等の高度な画像処理技術を用いず、測距センサによる非接触センシング技術により、高齢者等の見守り対象者のプライバシーを配慮し、装置装着等の負担を掛けないで、ベッドゾーン（ベッド上、ベッド周辺）の見守りを行う。見守り機能は、睡眠姿勢、ベッド端移動、起き上り、端座位、柵越え、ずり落ち、落下、離床を検知し、危機的状況を判定し見守り者に無線通報する。		

	<p>測距センサ評価の例：起き上り検知（評価用GUIを使用）</p> <p>起き上りを赤色で表示</p> <p>測距センサを天井に取り付けた場合</p> <p>※1はベッド面、※2, 3はベッドサイドを表示</p>
想定する使用者及び使用方法、使用場面	<p>① 想定する使用者 介護施設や医療施設の入所者を介護、看護する職員、及び在宅で見守る家族</p> <p>② 想定する使用場面 介護施設、医療施設、在宅等のベッドゾーンの見守り</p> <p>③ 想定する使用方法 ベッド上又は壁等に測距センサ内蔵見守り装置を取り付け、見守り装置で検知した危機的状況を、見守り者が携帯する情報機器（例えば、スマホやタブレット）に通報する。</p>
現在の開発状況と主な課題	<p>測距センサを用いてベッドゾーンでの各種姿勢検知の実現性を評価し、試作機開発に移行する段階。</p> <p>課題：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・装置の取り付け場所（天井、壁、ベッド構造物等）と簡単設置方法 ・
特にアドバイス（意見交換）を希望している事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ベッドゾーンで必要とする見守り機能 ・ベッドゾーンの見守りを必要とする入所者の比率 ・装置取り付け場所 ベッド移動に伴う装置の再取付を無くしたいが、ベッド構造物（例えばフレーム）にアタッチメントを付け固定する方法は受け入れられるか。 ・確実に通報したいために、導入されている無線ネットワークのカバーエリアと作業エリアの状況 ・同等機能を有する先行機器と比較して、導入可能な価格帯 ・付帯サービス（例えば、寝返り回数等の睡眠状態のレポート）の要望
その他	

(注) 必要に応じて記載欄を増やしてください。

本社・工場／〒386-8608 長野県上田市踏入2丁目10番19号
TEL.0268-26-2112(総務グループ)

東京営業所／〒112-0004 東京都文京区後楽1丁目1番5号
水道橋外堀通ビル7階
TEL.03-6801-8177 FAX.03-6801-8201

Head Office & Main Factory: 2-10-19, Fumiiri,Ueda City,
Nagano 386-8608

Tokyo Office: Suidobashi Sotoboridori Bldg. 7F, 1-1-5, Koraku,
Bunkyo-ku, Tokyo 112-0004



URL <https://www.ujrc.co.jp>



Ueda Japan Radio Co., LTD.

Corporate Profile



ISO9001 登録範囲
・一部官公庁向け機器除く

ISO13485 登録範囲
1.免疫発光測定装置の製造、サービスパッケージの供給、引取り修理及び販売
2.汎用超音波画像診断装置の設計・開発、製造、サービスパッケージの供給、引取り修理及び販売
3.循環器用超音波画像診断装置の設計・開発、製造、サービスパッケージの供給、引取り修理及び販売
4.超音波画像診断用プローブの設計・開発、製造、引取り修理及び販売
5.超音波測定装置及び二重エネルギー骨X線吸収測定一体型装置の製造、引取り修理及び販売
6.超音波骨密度測定装置及びOCT画像診断装置のサービスパッケージの供給、引取り修理及び販売
7.経食道心電カテーテルシステムの設計・開発、製造、サービスパッケージの供給、引取り修理及び販売
8.ホータブレインスクリン用輸液ポンプの設計・開発、製造、サービスパッケージの供給及び販売
9.蛋白質分析装置の設計・開発、製造、サービスパッケージの供給及び販売

ISO14001 登録範囲
・東京営業所除く

Infinity of Ingenuity

Creative Achievement through Unflagging Efforts

（社是）

ソウイムゲン

そういむげん

（経営理念）

エレクトロニクス技術をもって
人類の健康と安全に寄与し、
情報通信分野に貢献する

Management Philosophy

With our innovative electronics technology, bestow ourselves upon the human health and welfare, and contribute to the progression of the information and communication industries.



ごあいさつ

上田日本無線株式会社が生まれた信州・上田は、美しい自然と豊かな歴史文化に囲まれ、厳しいながら変化に富んだ気候に恵まれております。このような環境により培われた勤勉かつ質実剛健な気風は、高い品質精度と緻密な技術集約を要求されるエレクトロニクス産業においても大きく貢献しております。

当社は、この上田において1949年に創業し、超音波技術、メカトロ技術など当社独自のコアテクノロジーを基盤とし、長年にわたる開発・生産により蓄積してきた技術とノウハウを活かして、医療機器の様々なニーズに応える製品を提供してまいりました。また、日本無線グループ発展の一翼を担ってきた無線通信分野に於いても、変わることなく、様々な用途に応じた製品を提供しています。

当社の強みは、「超音波技術」「無線通信技術」「メカトロ技術」「製造」を融合した事業を展開しているところです。これからもこの柱を大切にしながら、社は「創意無限」のもと、予防、診断、治療、健康増進の観点から先進的な製品の開発を推進し、さまざまな医療ニーズに応えられる製品を提供し、世界中の人々の健康に貢献できるよう努力を重ねてまいります。

今後とも皆様方の一層のお引き立てと、ご愛顧賜りますよう
お願い申し上げます。

上田日本無線株式会社
代表取締役社長

奥川 隆祥

Top Message

The city of Ueda, the birthplace of Ueda Japan Radio Co., Ltd. (UJRC), is endowed with beautiful nature and affluent historical and cultural background. Its sometimes severe and variegated climate has nurtured honest and diligent spirit, and which is contributing to the electronics industry by achieving high accuracy in product quality and innovative technological integration.

Ever since the establishment in 1949, we have accumulated ultrasound and mechatronics technologies as our distinct core technology through the long-standing corporate history in development and production. By enhancing such reliable technologies and experiences, we have dedicated our efforts in providing such products that fulfill various customer needs for medical devices. Needless to mention, we will continue to provide wide range of radio communication products as an indispensable part in development of the Japan Radio Company (JRC) Group.

What further supports our business development is the integration of our corporate backbones, "ultrasound," "radio communication," "mechatronics" and "manufacturing." Along with these backbones and our corporate credo "Soui Mugen: Creative Achievement through Unflagging Efforts," we continue striving to develop innovative products for prevention, diagnosis, treatment and promotion of health and wellness. The dedication of our efforts to provide products that support various unmet medical needs and contribution to the global enhancement of human health will never come to a halt.

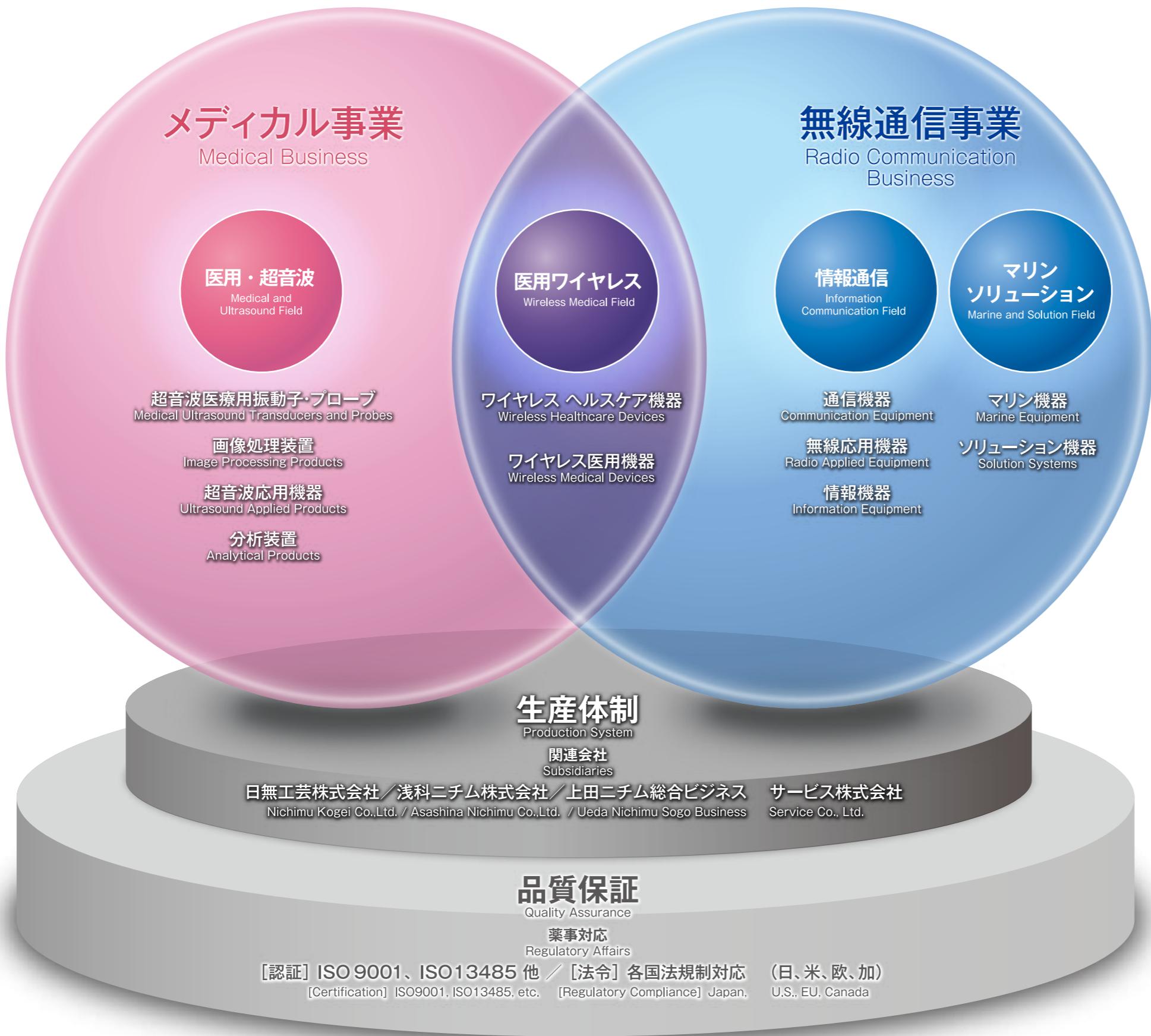
We appreciate your continuous close and sincere relationship and future business.

Ueda Japan Radio Co., LTD.
CEO

Okugawa Takayoshi

Business Fields

上田日本無線 ビジネスフィールド



Responding flexibly to the New Normal

The two core business in medical and radio communication fields of our company and the dependable production system supporting those divisions have been working in collaboration. We have also organized a quality assurance system to ensure reliability of our products. Based on such solid system, we have been developing, manufacturing and distributing wide range of products.

We are actively expanding our business in the fields of medical, ultrasound, information communication and also in the integrated wireless medical field.

メディカル技術と無線通信技術を融合し、メディカル・ヘルスケア市場へ展開することで医療の発展に貢献していきます。

By integrating medical technology with radio communication technology, and by enhancing our expertise in the medical healthcare markets, we will contribute to the advancement of healthcare.

ニューノーマルに柔軟に対応

メディカル事業、無線通信事業、そして両事業を支える生産体制と全体をサポートする品質保証の連携により、多種多様な製品の開発・製造・販売を行っています。

「医用・超音波」、「情報通信」及び、それらを融合した「医用ワイヤレス」の分野において積極的な事業展開を図っています。



コアテクノロジーとコアコンピタンス

- 超音波技術をコアに、医療機器の高度な要求にスピーディーに対応。
一步進んだポイントオブケア領域から、未来の医療へチャレンジしています。
- 無線技術に磨きをかけ時代をリード。無線モジュールから大型システムまで、
様々な分野で新たな可能性を創造します。

〈事業エリアと開発製品群〉 Business Fields and Developed Products

医用・超音波 Medical and Ultrasound Field

医療用途		
Medical use		
超音波センサー Ultrasound sensor	汎用超音波 General-purpose ultrasound probe	血管内超音波 Intravascular ultrasound probe
超音波医療用振動子・プローブ Medical ultrasound transducers and probes	画像 Image processing	
圧電材料 Piezoelectric materials		
PZT	PZT・コンポジット・単結晶 PZT / Composite / Monocrystal	PZT PZT

医用ワイヤレス Wireless Medical Field

携帯型 超音波診断 装置		
Portable ultrasound diagnostic device		
要介護者 見守りシステム Watching system for people requiring care		
モダリティ周辺 ワイヤレス Wireless peripheral devices of modality		

情報通信 Information Communication Field

近距離無線通信技術の展開		
Development of short-range radio communication technology		
1km	100m	10m
LoRa®方式 無線モジュール LoRa wireless module	920MHz帯 無線機(例) 920MHz band wireless device	IoT/M2Mソーラ式 無線遠隔監視 IoT / M2M solar wireless remote monitoring
ワイヤレス テlemetry 送信機 Wireless telemetry transmitter		ワイヤレス フットスイッチ Wireless foot switch
UWB無線機 UWB wireless device		

超音波領域 (Ultrasound range): 50kHz~200kHz, 2MHz~20MHz
VHF: 20MHz~80MHz
UHF: 30MHz~300MHz
マイクロ波 (Microwave): 300MHz~3000MHz
ミリ波帯 (Millimeter wave band): 3GHz~30GHz, 30GHz~300GHz

LoRa®はセムック社の登録商標です

製品トピックス 〈医用ワイヤレス〉 Product Topics (Wireless Medical)



携帯型超音波診断装置

携帯型の汎用超音波画像診断装置、「ハンディーエコー Po-ecシリーズ」を開発しました(医療機器認証番号:303AIBZX00005000)。超音波プローブとタブレット端末をワイヤレス接続することにより、超音波診断の利便性を救急医療や在宅医療など様々な現場・シーンで発揮することを目指した装置です。POCUS(Point-of-Care UltraSound)として今注目されているシステムです。

We have developed portable ultrasound diagnostic device "Handy Echo Po-ec Series." (Approval No. : 303AIBZX00005000)

By connecting ultrasound probe and tablet terminal wirelessly, the device aims to achieve benefits imposed by ultrasound diagnosis in various situations such as in medical emergency and home care. This device is known as POCUS (Point-of-Care Ultrasound) with big attention.



要介護者見守りシステム「守ってね」

要介護者見守りシステム「守ってね」とは、就寝中の要介護者さまの離床前行動を検知し、ご家族さまへお知らせすることで、転倒などの事故防止、夜間の見守り負荷低減に貢献するシステムです。(この製品は医療機器ではありません)

"Mamottene" is to be used to detect movement and leaving from the bed of the people who requires watching for 24 hours, and inform their families. This device was developed in hope to prevent falls and other accidents and to reduce the daily burden of families and carers. (This is not classified as a medical device.)

Business System

事業展開

各周波数帯の可能性を極め、 近未来における新事業分野を構築します

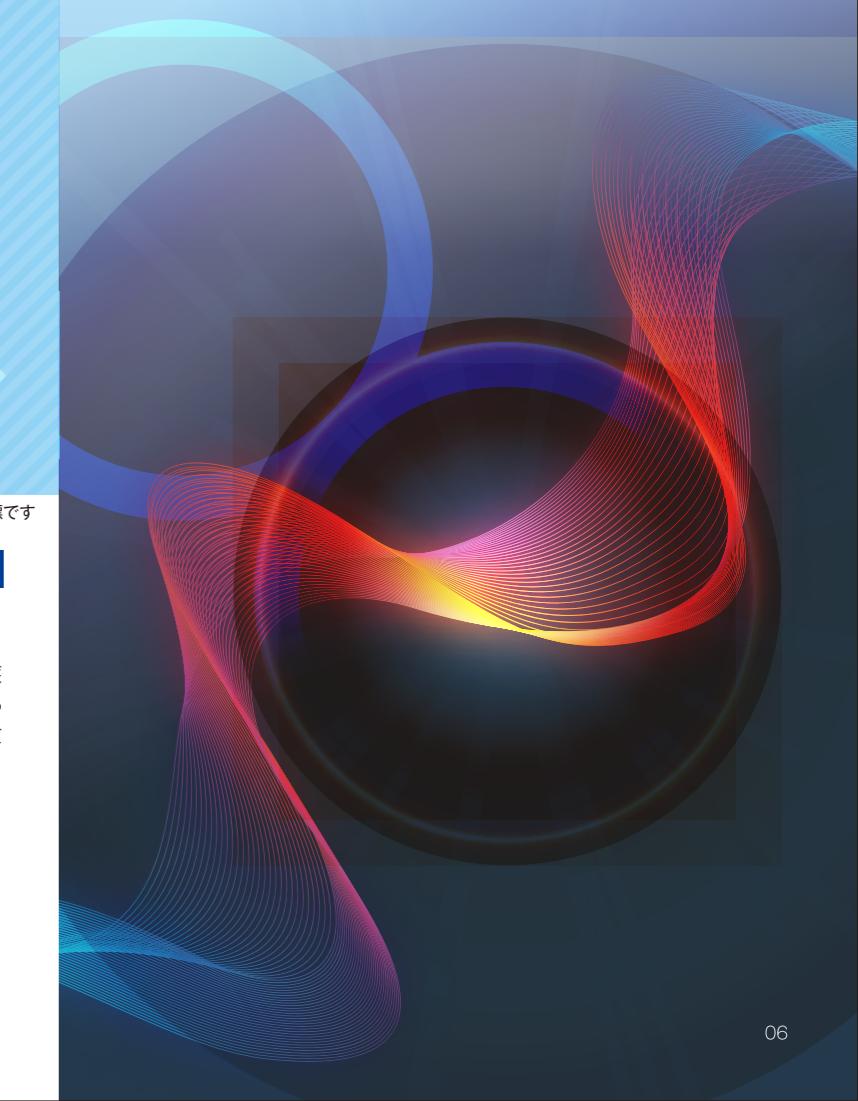
Pioneering the possibilities of frequency band and establishing a new business field for the near future.

「創意無限」に挑戦するエンジニアたち

Engineers' endeavor for the realization of
"Soui Mugen : Creative Achievement through Unflagging Efforts."

超音波関連医療機器、無線・情報通信関連機器で培った核となる技術を掛け合わせることで相乗効果を生み出し、新たな創造で幅広い分野の商品開発を行います。

With the synergistic effect earned by multiplying our core technologies that we have accumulated through manufacturing of ultrasound medical devices and radio, information communication devices, we aim to develop wider range of products with ingenuity.



変化を恐れず、常に新しいものづくりに挑戦

Keep changing and challenging for innovative manufacturing

■高品質を支えるエキスパートたち

Reliable experts promoting high quality

●生産に従事する社員の7割以上が国家資格取得者であり、技術の向上に対して積極的な社風です。

●県下の技能検定試験において各クラスで上位入賞者が多いのも当社の誇るべき伝統です。

・More than 70% of our employees engaged in manufacturing have obtained national certification. Our corporate culture encourages employees to improve their skills.

・It is our proud tradition that many of our employees have won top prize in annual technical skill assessment tests held in Nagano.

〈技能検定職種〉2021年9月現在

電子機器組立て：特級 4名／1級 30名／2級 80名

機械板金：特級 1名／1級 1名／2級 5名

機械加工：1級 2名／2級 2名

塗装：1級 2名／2級 3名

〈Technical skill certification holders〉 As of September 2021

Electronics assembly: Advanced Grade 4; Grade I 30; Grade II 80

Sheet metal work: Advanced Grade 1; Grade I 1; Grade II 5

Machine processing: Grade I 2; Grade II 2

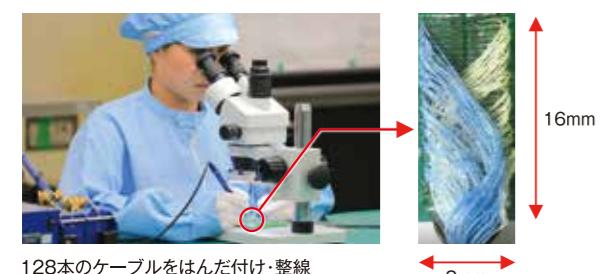
Coating: Grade I 2; Grade II 3

●機械よりも精密な匠の「手」で高品質な製品を製造しています。

●整った生産環境の下、働きやすくものづくりに集中できます。

・High quality products are manufactured with the skill of craftsmen whose accuracy surpass that of a machine.

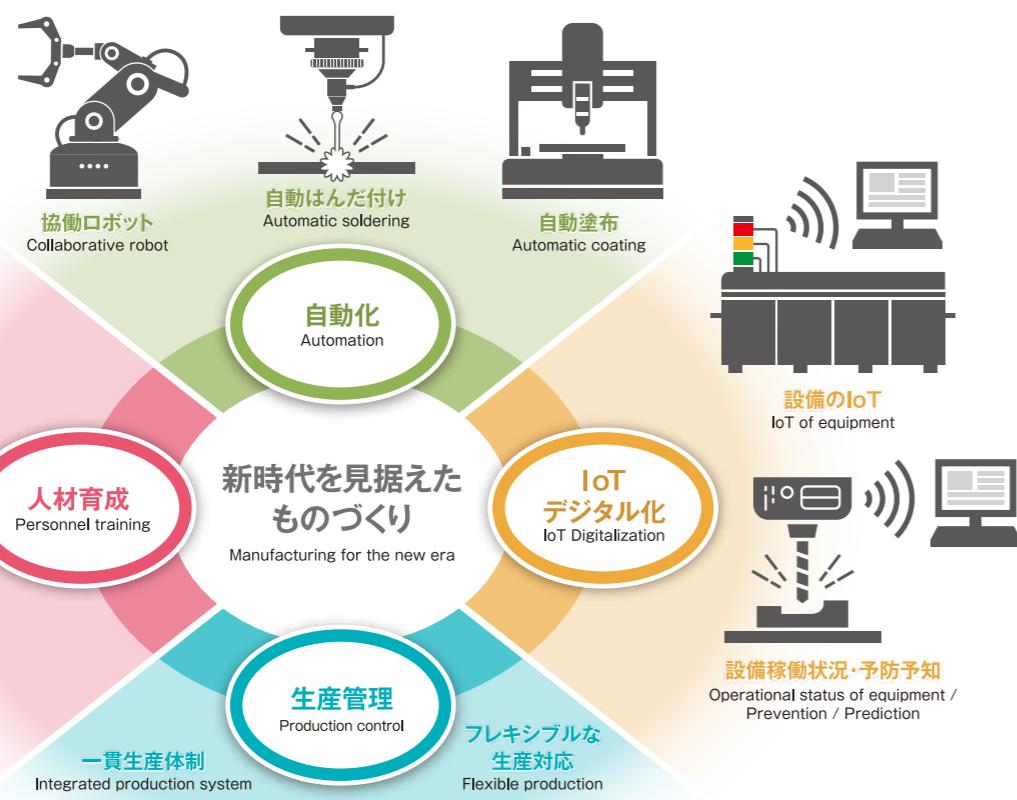
・Well-organized production workplace provides conducive environment for employees to concentrate on their works.



128本のケーブルをはんだ付け・整線
Soldering and line arrangement of 128 pcs of cables.



チャレンジマインドの醸成
Fostering self-initiative

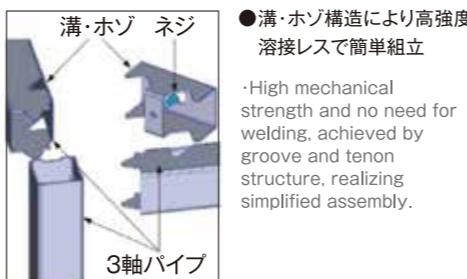


■高効率な生産ラインを支える保有設備

Equipment supporting highly efficient production line

長尺パイプ・形鋼用3次元レーザー加工機

3D laser beam machine for elongated pipe and shape steel



●3Dレーザーヘッドによる
自在な加工
Adjustable processing
by 3D laser head.

●溝・ホゾ構造により高強度
溶接レスで簡単組立
High mechanical
strength and no need for
welding, achieved by
groove and tenon
structure, realizing
simplified assembly.

クリーンルーム

Clean room



●温度・湿度・コンタミ管理
が必要な製品を生産
・class 3,000 344.1m²
・class 10,000 353.1m²
・Manufacturing products
that requires
temperature, humidity and
contamination control.
-Class 3,000 344.1m²
-Class 10,000 353.1m²

高密度実装機

High-density mounting



●チップサイズ0402実装
基板サイズ
50mm×50mm～
460mm×360mmまで
対応します
・Mounting 0402 size chips
Applicable to board size
from 50×50mm to
460×360mm

■生産設備のデジタル活用

Digital application of production equipment



組立ナビゲーションシステムで、作業習得時間短縮
Assembly navigation system shortens the period for mastering operation.



進捗の見える化で早期状況把握
Visualization of the operation
progress enables prompt grasping
of each process.

Manufacturing Headquarters

生産本部

蓄積してきたノウハウと
新たな生産技術を融合し、
ナノテク分野からメカトロ分野まで
環境を重視した創造的・知的な
ものづくりに対応

Pursuing creative and unique manufacturing with deep consideration for environment, by integrating accumulated know-how with innovative technologies, in broad fields from nanotechnology to mechatronics.

高品質・高効率・迅速対応を可能とする一貫生産体制

Integrated production system which enables delivering high quality products with high efficiency and prompt response

基板設計、材料の調達から表面実装、筐体の溶接、塗装まで、ものづくりの全てのプロセスを一貫して対応できるのが当社の強みです。各プロセスのリアルタイムな情報の「見える化」を推進したジャストインタイムのものづくりで低価格・短納期・多品種少量・変種変量生産を実現し、お客様のニーズにお応えいたします。また、各種規格に準拠したマネジメントシステムを構築しており、安心安全な品質を確保しています。

Our advantage is the total manufacturing process which covers circuit board design, material procurement, surface mounting, housing welding and coating. By promoting "visualization" of real-time data of each process and establishing just-in-time manufacturing system, we have realized low-cost, quick delivery manufacturing in variety of quantities and types of products to meet our customer needs. We also have established quality management system conforming to various standards that covers entire process to ensure secure and safe products.



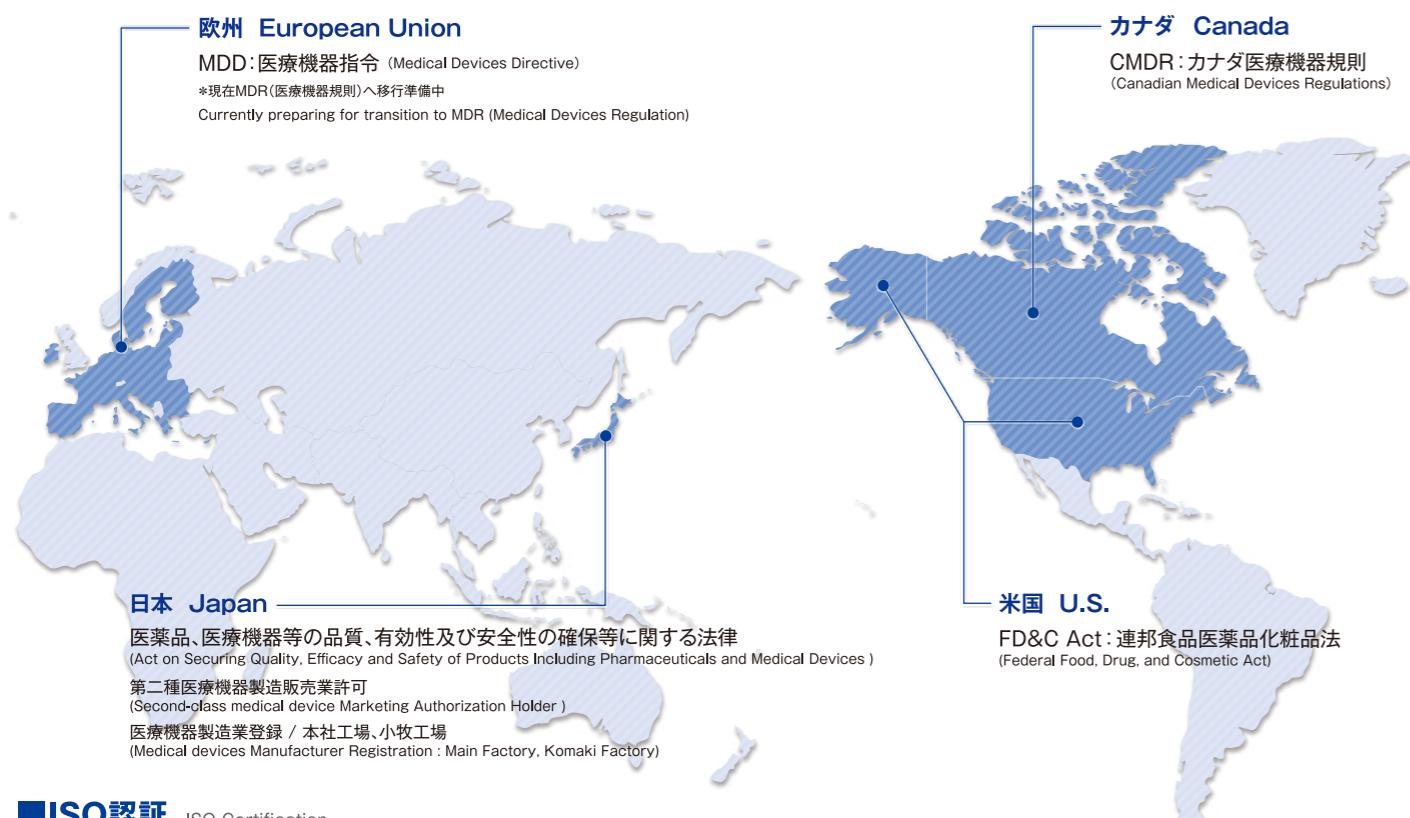
Quality Assurance

品質保証体制

医療機器は人体に対する安全性・有効性への配慮から厳密な規制が設定されている為、国によってその規制が異なります。当社は、各国法規制・医療機器の規格を基にQMSを確立した上で、品質保証体制を構築しています。長年の経験により、このような法令・規格等に対応できるノウハウを持っています。

Medical devices are subject to strict legislation and regulations to ensure safety and effectiveness for the human body, and they differ from country to country. By establishing quality management system based on the laws and regulations of each country and medical devices standards, we have built a reliable quality assurance system. With our many years of experience, we have adequate know-how to comply with such laws, regulations and standards.

■各国規制対応 Regulatory Compliance



■ISO認証 ISO Certification

ISO 9001「品質マネジメントシステム」

1995年12月に取得し、2012年9月に海外展開に向けテュフ ラインランド ジャパンに認証機関を移行しました。
(登録証番号: 01 100 117619)

ISO 13485「医療機器における品質マネジメントシステム」

2006年8月に取得し、2012年9月に海外展開に向けテュフ ラインランド ジャパンに認証機関を移行しました。
(Certificate Registration No.: SX 2003684-1)

We acquired ISO 9001 Quality Management System certification in December 1995 (Certificate Registration No.: 01 100 117619) and ISO 13485 Medical Devices - Quality Management System certification in August 2006 (Certificate Registration No.: SX 2003684-1). With the aim to expand our business into foreign markets, we transferred the certification body to TÜV Rheinland Japan in September 2012.

ISO 14001「環境マネジメントシステム」

1999年10月にJQA(日本品質保証機構)より取得しました。(登録証番号: JQA-EM0531)

We acquired ISO 14001 Environmental Management System certified by JQA (Japan Quality Assurance Organization) in October 1999. (Certificate Registration No.: JQA-EM0531)

Corporate Outline

■会社概要

商 号 上田日本無線株式会社
所 在 地 〒386-8608 長野県上田市踏入2丁目10番19号
創 立 1949年(昭和24年)10月1日
資 本 金 700百万円
敷地面積 本社 25,551m²
小牧 3,387m²
壳 上 高 12,272百万円(2021年12月31日実績)
従業員数 547名(2021年12月31日現在)

役 員 代表取締役社長 奥川 隆祥
取締役常務執行役員 小林 真行
取締役常務執行役員 芝田 宏靖
取締役執行役員 松川 晋至
取締役 足立 誠幸
監査役 小宮 孝之
監査役 長谷川 透
常務執行役員 小林 一太
執行役員 若林 誠
執行役員 竹内 義彦
執行役員 市川 政宏
執行役員 太田 博之
執行役員 高橋 宏信

株 主 日本無線株式会社

取引銀行 八十二銀行／三井住友銀行／長野銀行

事業内容 医用電子装置、無線通信装置、電子応用機器、各種システム機器及び電子部品の開発・製造・販売

事 業 所 本社・工場／〒386-8608 長野県上田市踏入2丁目10番19号
TEL.(0268)26-2112 FAX.(0268)26-2070
東京営業所／〒112-0004 東京都文京区後楽1丁目1番5号
水道橋外堀通ビル7階
TEL.(03)6801-8177 FAX.(03)6801-8201
小牧工場／〒386-0032 長野県上田市大字諏訪町1717-9
TEL.(0268)23-7280 FAX.(0268)23-6805

関連会社 (子会社)
日無工芸株式会社
〒386-0017 長野県上田市踏入2丁目10番19号
TEL.(0268)27-8759 FAX.(0268)27-8765

浅科ニチム株式会社
〒384-2103 長野県佐久市御馬寄479
TEL.(0267)58-2110 FAX.(0267)58-3614
URL: <https://www.a-jrc.co.jp/>
上田ニチム総合ビジネスサービス株式会社
〒386-0017 長野県上田市踏入2丁目10番19号
TEL.(0268)26-2116

主要関係会社
日清紡ホールディングス株式会社
〒103-8650 東京都中央区日本橋人形町2-31-11
TEL.(03)5695-8833 URL: <https://www.nisshinbo.co.jp/>

日本無線株式会社
〒164-8570 東京都中野区中野4-10-1
中野セントラルパークイースト
TEL.(03)6832-1721 URL: <https://www.jrc.co.jp/jp/>
長野日本無線株式会社
〒381-2288 長野県長野市稻里町1163番地
TEL.(026)285-1111 URL: <http://www.njrc.co.jp/>

■沿革

1942年 12月 日本無線株式会社上田工場の建設に先立って、上田市新参町に上田工業訓練所を開設。技能養成と無線機部品の製作を開始。
1949年 10月 企業再建整備法および過度経済力集中排除法の適用をうけ、旧日本無線株式会社の第2会社として、新たに上田日本無線株式会社が、資本金700万円、従業員190名にて発足。
1980年 5月 戸倉工場(469.28m²)を開設。
6月 日無工芸株式会社(476.28m²)を設立。
1986年 11月 東京連絡事務所を開設し、営業技術、資材調達の拠点とする。
1988年 2月 長瀬工場(282.87m²)を開設。
8月 浅科ニチム株式会社(3,160.25m²)を設立。
1992年 9月 東京連絡事務所を東京営業所に改組。
1995年 12月 ISO 9001認証取得。
1999年 10月 創立50周年。
ISO 14001認証取得。
2001年 4月 上田ニチム総合ビジネスサービス株式会社を設立。
2006年 8月 ISO 13485認証取得。
2009年 12月 医療機器製造許可証取得。
第2種医療機器製造販売業許可証取得。
2010年 2月 医療機器修理業許可証取得。
2016年 3月 日本無線株式会社による完全子会社化。

C S R 上田日本無線は日清紡グループの一員として、グループの企業理念「挑戦と変革。地球と人との未来を創る。」の具現化を通して、多様性の中での団結を進め企業価値の向上を目指しています。

As a member of the Nisshinbo Group, UJRC aims to enhance the corporate value by promoting "unity in diversity" through realization of the Group's corporate philosophy, "Change and Challenge! For the creation of the future of Earth and People."

ESGへの取り組み

上田日本無線では「環境・エネルギー・カンパニー」グループとしての歩みを進め「ライフ＆ヘルスケア」の事業を推進していきます。保有する技術の活用とソリューション展開を通じて、メディカルに限定せず、モノづくりで極めた技術や製品を活用したサービス事業を展開するなど、事業を通じてSDGsへの貢献を果たしていきます。

Commitment to ESG

UJRC will promote "life and healthcare" business, with strong responsibility as a part of Nisshinbo's Environment and Energy Company group.

By leveraging technological expertise and products that we have accumulated over the years of manufacturing beyond the medical field and by enhancing sustainable solutions, we will contribute to achieving the SDGs through our corporate activities.

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

